

新庁舎建設区民ワークショップ～北区らしさってなんだろう?～ 実施概要

<開催日時・会場・実施内容>

	日時	会場	主な実施内容
1 回目	10月19日(土) 9:45～12:00	北とぴあ 第1研修室	<ul style="list-style-type: none"> 新庁舎建設の取り組み状況の説明 グループ内での参加者の関心の共有 建設予定地周辺のまち歩き
2 回目	11月9日(土) 9:45～13:00	岸町ふれあい館 第五集会室	<ul style="list-style-type: none"> グループごとの意見交換(ブレインストーミング) 意見交換の結果共有 第3回でグループが担当する題材決め
3 回目	11月30日(土) 9:45～13:00	岸町ふれあい館 第五集会室	<ul style="list-style-type: none"> 第2回の成果を題材とした、グループごとのまとめ作業 各グループの検討成果の発表

<参加者>

全33人(区内の関係団体からの推薦26人、一般公募7人)

<ワークショップのテーマ>

- 本ワークショップは新庁舎建設基本計画の初期段階に実施するため、幅広いテーマを設定することで多岐に渡る区民のご意見を募ることを目指した。
- メインテーマ「北区らしさってなんだろう?」のもと、4つのサブテーマを設定した。

①駅前のある方に関すること	②建物のあり方に関すること
③区民に関すること	④職員に関すること

<第1回ワークショップ>

■グループ内での自己紹介

■新庁舎建設に関するこれまでの取り組み報告

■ワークショップでの目標などを考える(参加者の関心の共有)

- 参加者が、六面体(キューブ)の展開図にワークショップでの目標や検討したいキーワードを書いて組み立てた後、グループごとにその内容を共有した。
記載内容は防災関連が最も多く、その他、まちづくり、行政、子育て、コミュニティ、庁舎建物等、幅広いご意見を頂いた。

■新庁舎建設予定地のまち歩き

- グループごとに新庁舎建設予定地周辺のまち歩きをした。気になる箇所で立ち止まりながら、自由に話をして回った。

■第1回の様子



キューブの作成



完成したキューブ

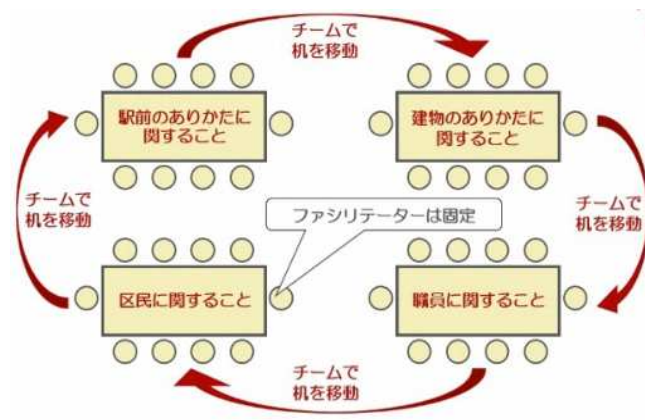


まち歩きの様子

<第2回ワークショップ>

■グループごとの意見交換

- 参加者は、第1回で分かれたA～Dの4つのグループごとに、メインテーマ「北区らしさってなんだろう？」を構成するサブテーマが割り振られた4つのテーブルを回り、各テーブルで話し合った。
- 1つのサブテーマにつき20分程度を目安に、話し合いながら意見等をグループカラーのふせんに書き、分類してシートに貼り付けていった。
- 時間になったら次のテーブルに移り、次のサブテーマについて話し合っていた。



第2回WSの進め方（テーブルの移動）

■振り返り（意見交換の結果共有）

- 全グループがそれぞれ4つのテーマについて話し合った後、各テーブルのファシリテーターが、担当するサブテーマについて、意見交換の内容や様子を発表した。
- 右の写真はサブテーマ「駅前のあり方に関すること」、サブサブテーマ「駅前や新庁舎に広場があったら、こんなことをしたい！広場にはこんな施設が欲しい」の成果。
4つのサブテーマに対して、合計25枚のサブサブテーマのシート、合計約450枚のふせん（意見）が集まった。
- いずれの意見も、新庁舎建設に取り入れられるかを検討する題材とすることとした。



■第3回に向けたテーマ選び

- 第3回では、1グループにつき1つサブテーマをまとめていくこととし、担当を決定した。

■第2回の様子



話し合いの様子



シート作成の様子

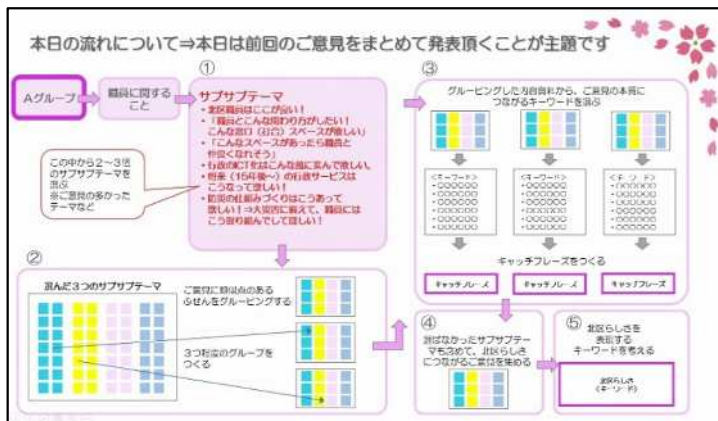


ファシリテーターの発表

<第3回ワークショップ>

■グループごとのまとめ作業

- 参加者は、第2回で割り当てられた、各グループが担当するサブテーマごとの成果から複数のシートを選び、各シートに貼られたふせんの内容についてグルーピング(トピックスを分析)し、サブテーマに関するキャッチフレーズやキーワードを導き出した。
- さらに、グルーピングする中では取り上げきれなかった、「北区らしさ」を考えるとときに大切にしたい個別意見を振り返った。
- 最後に、グルーピングと個別意見の抽出の両方を踏まえて、「北区らしさ」について考えた。



■参加者による成果発表

①サブテーマごとのキャッチフレーズ・キーワード (パーツその1)

②個別意見の抽出成果 (パーツその2)

③「北区らしさ」を考える

- グルーピング成果(パーツその1)と、個別意見の抽出成果(パーツその2)を掛け合わせて、これまでグループ内で話し合ってきた内容を振り返り、今の「北区らしさ」や、今後「北区にこうなってほしい」という願いをまとめた。



各グループで考えた「北区らしさ」の一部 (左がAグループ、右がCグループ)

■第3回の様子



まとめ作業の様子①



まとめ作業の様子②



まとめ作業の様子③



参加者の発表①



参加者の発表②



新庁舎建設基本計画専門家会議委員の講評

～北区らしさってなんだろう～

私たちが
考えた

新庁舎に求める“北区らしさ”

各グループが異なる 4 つの視点（サブテーマ）から話し合ってきた内容を振りかえり、今の“北区らしさ”や、新庁舎建設に向けて“北区にこうなってほしい”という願いをまとめています

グループ
D

駅前のある方から考えた
”北区らしさ”

北区らしさをもっとふくらまそう
～分断からネットワークへ～

まとまりのない街—北区
川と道路と都電による分断
(個々には細かくまとまっている)

つながりをつくる

グループ
C

建物のあり方から考えた
”北区らしさ”

北区民が生きる拠点（よりどころ）

人を中心に！

人にやさしい
人の命を守る
人が憩える

建物

時間軸

文化と歴史
と遊び心

グループ
B

「区民」から考えた
”北区らしさ”

水

(色が無く、どんな形にも変容し、人に必要不可欠なモノの例えとして)

グループ
A

「職員」から考えた
”北区らしさ”

北区愛
現場に出ていく
お祭り／災害にかけつける
誠実な対応@総合窓口（ワンストップ）
最後は人。時代、技術がどうなろうと
やる気！やる気を引出す

パーツその1 ～キャッチフレーズとキーワード～

4つの視点（サブテーマ）ごとに“北区らしさ”につながるキャッチフレーズと、その構成要素となるキーワードを考えました

グループ

D

駅前のあるり方に関する

“キャッチフレーズ”と“キーワード”

キーワード



歴史と文化・魅力ある北区をアピールして回遊性を高める

豊かな人間性を育てる
文化と歴史
PRがヘタ

機能性・効率性の高いコンパクトシティづくり

北区では諸官庁が分散しすぎ

50年後の区民でも自由に使える融通性のある空間

もっと自由に・もっと多様に
…できるだけ規制のない空間
楽しめる空間 いこいの空間
イベントのできる空間 避難できる空間

50年後の北区が輝くまちづくり

根本的な再開発
強固な都市基盤づくり
将来、未来を見据えた都市基盤づくり

スムーズに行ける区役所に！！

バリアフリー
ユニバーサルデザイン

駅前、ヒト、クルマの流れを大改造

庁舎へのアクセス
道路・車 JRとの連携 都電

グループ

C

建物のあり方に関する

“キャッチフレーズ”と“キーワード”

キーワード



多様な機能を併設したみんなで使う庁舎
子どもは街で育てる
庁舎の役割が変わることにあわせた多様性

飛鳥山 フレキシビリティー
日常と災害時 関係 周辺と一体
職員と区民 渋谷さん

多様性と必要最低限をバランス感覚を持って
水害に耐えられる水上交通 弱点を逆に！
庁舎に専門家・職員が住み込んで災害対応

市民の命を守る 避難所 設備
バランス感覚 職員寮

グループ

A

職員のあり方に関する

“キャッチフレーズ”と“キーワード”

キーワード



日頃から、地域に愛着を持って、お祭りやイベントに参加し、災害時にはかけつけてくれる、地区のエキスパートになっていく職員

地域意識・愛着 地域のお祭り
災害時かけつけ
特定地区のエキスパート

区民に愛され、感謝されるサービスを提供する、組織と人材
表に出て行って欲しい アウトリーチ！

組織を大まかに再編
ICT・AI と人的対応
進取の精神 やる気 区民ファースト

分かりやすく、セキュリティとプライバシーに配慮され、臨機応変な対応が出来るワンストップ窓口(どこまでをワンストップにするか)

ワンストップの窓口 臨機応変な対応
わかりやすく セキュリティ
プライバシー

グループ
B

区民のあり方に関する
“キャッチフレーズ”と“キーワード”

キーワード



何色でもあり、何色でもない

多様性 寛容性 (心の) バリアフリー
イノベティブ 新しい 積極的

地元のつながりをはぐくめる新庁舎

地元のつながりがある

王子、赤羽、滝野川、三色団子がいいんじゃない

3つの雰囲気

景観の街とわかりやすい緑がテーマの新庁舎

飛鳥山 公園 桜 稜線 都電

隣りのガイジン

隣人 定住化 多様性
コミュニティ 学校の対応 慣れ
地元との交流 宗教・習慣の違い

外国人をきちんと見守る制度設計

区役所の
・相談窓口
・区の案内、紹介
・啓発の機会

互いの文化を理解し歩み寄りを！

日本語、文化、生活習慣、生活環境

AI 等を使ったコミュニケーションを区役所に導入

日本語教育 学校(小)の役割が大きい
パートナーシップの場を区役所に
地元でもコミュニケーションが取れている

パーツその2 ～大切にしたいこと～

“北区らしさ”を考えるときに大切にしたい“光る意見”を振り返りました

グループ

A

職員に関する
”大切にしたいこと”

- ❑ 時代が移り替わっても、人間の心は同じであって欲しいと思います。
- ❑ A I と人的対応 ←ボランティア

グループ

B

区民に関する
”大切にしたいこと”

- ❑ 民間活動の支援、規制緩和、対応窓口のセクションワンストップ
- ❑ シビックプライド渋谷栄一の「精神」の活用
- ❑ 渋谷イズムの継承→シビックプライド
- ❑ ボランティアセンターは駅に近く、庁舎の1階に設置して欲しい
- ❑ 子育て世代が集まれるイベントや遊びに行ける場が欲しい
- ❑ 小学校の郷土の学習を公開講座にして大人も学ぶまちに詳しい大人が子どもの学習に参画する
- ❑ 渋谷さんによる王子の観光化への対応、新しい産業を創る
- ❑ ボランティア活動をしやすい仕組みを、ボランティアセンターを利用しやすい場所へ設置して欲しい

グループ

C

建物のあり方に関する
”大切にしたいこと”

- ❑ 区民の目線にたち、関連する部署は近くに配置する
- ❑ 都電ネットワーク、台東・荒川・豊島・新宿、回遊性を高めよう、食べ歩き、建物巡り
- ❑ サインシステム（点字、外国語表記、ピクトグラム）統一化、大型化
- ❑ 障害者に対する配慮をしっかりと（エレベーターの大型、トイレ）
- ❑ いろいろな窓口をまとめて欲しい
- ❑ 現在完成している他区の庁舎の機能性を充分参考にして良否を考慮する

グループ

D

駅前のあり方に関する
”大切にしたいこと”

- ❑ 将来はICT化が進み、庁舎に行かなくても良くなるかも！
- ❑ 他の建物、公園との連携を強化する
- ❑ 庁舎に行かなくても良いアクセス方法を！